

—『土佐清水市史上巻』(1980年)「七 近代・現代」—

上灘村長・近藤猪熊の暗夜雷雨のなかを中村—上灘間を往復

今回は、現行の『土佐清水市史上巻』(1980年)の1106～1107頁に記述されている標記のエピソードを紹介したい。これは近藤自身の手記である「岩の一代記」の記述をもとにしており、体験した本人自身が記述していることからフィクションではなく、本当であった事実であろうと思われる。

(1) 上灘村・近藤猪熊村長ら一行「選挙人名簿」持参を失念

明治22年(1889)、大日本帝国憲法が公布されて翌年に第1回衆議院総選挙が開催された。憲法制定の年に町村制が布かれ、現在の大岐から大谷に至る沿岸域は上灘村となった。この上灘村の選挙業務において以下のようなエピソードが当時の村長近藤猪熊によって記されている。

恐らく第1回衆議院総選挙のときのことと思われる。現在でも市町村選挙管理委員会の選挙事務で投票用紙の取り扱いの不備など、何かとトラブルが絶えない。ましてや初めて導入される選挙制度に慣れていない明治中頃のことである。このようなトラブルがあったとしてもけっして不思議なことではない。

上灘役場では、首尾よく選挙を終え、その投票用紙を中村町の郡役所へ輸送することとなった。道路や車両のない時代であり、ほとんど江戸時代さながらの交通事情であった。上灘村長・近藤猪熊(次より猪熊と記す)、以下立会人の江口儀太郎・近藤広三郎・近藤益恵、並びに警備のための警察巡查一名がこれに随行した。

この日の午後4時に無事、一行は郡役所に到着し、投票用紙を佐田郡首席書記に手渡す。そこで選挙人名簿を忙時に失念して役場に置いてきたことに気づく。翌朝午前9時までにこれが揃わないと、幡多郡全体の開票に支障をきたす。それまでに何としても名簿を取ってこなければならない。

(2) 村長、暗夜・雷雨閃光の中を上灘村(伊予駄場)—中村町間徒歩で往復

猪熊はまず、近藤益恵に命じて上灘役場の当直・岩貞森三郎(次より岩貞と記す)にその状況を打電させた。そして、暗夜・雷雨閃光の激しい中を中村～上灘間を徹夜で往復したのである。

上灘村の面目を保つためにも何としても開票予定の翌日午前9時までに選挙人名簿をそろえなければならない。猪熊はその責任感から、余人を立てず、自ら大嵐の中を夕食すら口にする事なく、上灘村役場(伊予駄場に所在)に向かった。角崎の渡船場にさしかかったとき、雷雨が最も激しく、歩くことが厳しい状況となった。そこで着物を脱ぎ、シャツとズボン下となり、着物を渡船の渡しに預けた。

間崎の沼を通るころには、身体も冷えて体力も消耗し、空腹で歩くことさえ困難な状況となった。そこで一息休息しようと津蔵淵の往還沿いの民家を訪ねた。そこは佐々木信太郎(次から佐々木と記す)という18歳の青年が戸主で生活している家屋であった。佐々木は親切にも貰った祝い餅を猪熊に進呈した、猪熊はそれを3個食した。そして、再び帰路に着こうとすると、夜間の一人旅は命の危険があるので、佐々木は猪熊と同行して上灘役場

まで行ってくれることになった。

二人は、旧道の伊豆田峠を越え、なんとか大岐の手前の浜まで走った。猪熊は岩貞が選挙人名簿を持って中村町に向かっているかもしれないと考えた。そこで佐々木に大岐浜側を歩いてもらい、自身は集落道側を歩くことにした。猪熊は集落道上に所在する自宅に一旦戻り、妻の岩を起こして岩貞が立ち寄りなかったかを確認した。立ち寄りなかったことを確認すると、今度は以布利にある岩貞宅に立ち寄った。そこに岩貞は戻っていなかった。

「留守の岩貞宅に電報が入り、上灘役場に持って行った」と岩貞の妻は答えた。留守の家に電報を持っていくお粗末な郵便局の対応に怒りを露にしたが、今は選挙人名簿を中村町の郡役所に持って行くことが最優先と考えた。その後、自分は本通りを、佐々木には海岸通りを歩いて伊予駄場にある役場まで行くよう依頼した。

(3) 上灘役場に到着し、宿直岩貞森三郎に選挙人名簿を持って中村町郡役所に走らす

役場に着くと、宿直岩貞がすやすやと眠っていたので、大声で叱責した。「電報を打ったのに悠々と眠っているのはどういう了見か」と糺すと、「夜が明けてから走ろうと考えていた」と岩貞は答えた。更に、猪熊は怒り、「明朝9時までには必ず中村の役所まで選挙人名簿を持参しなければならない。自分もあとから追って行くから、名簿を携帯し、一刻も早く中村に向かえ！」と命じた。それから岩貞は走りに走った。猪熊もその後を追って走った。

結果を先にいうと、午前8時に無事、岩貞は選挙人名簿を中村町にある郡役所の佐田郡首席書記に手渡し、首尾よくその責任を全うした。江戸時代と変わらぬ、徒歩での移動がなされていた時代の一騒動の顛末記である。

今後の市史普及啓発活動

- ・ **6月17日(土)** 土佐清水市中央公民館会 2階会議室 9:30~11:30
土佐清水市郷土史同好会定例会において(依頼講話)
「土佐清水市史編さん事業講座・市政史」講師：市史編集委員会・武藤 清 委員
- ・ **6月26日(月)** 高知城ホール 13:30~16:30 うち報告40分程度
令和5年度四国遍路[世界遺産登録推進・日本遺産]市町村担当者説明会
「土佐清水市教育委員会管内での遍路道の保存活用」
講師：市史編さん室長・田村公利
- ・ **7月3日(月)** 土佐清水市教育センター 15:00~16:30
市立校長会研修会
「中浜万次郎について」講師：市史編さん室・田村公利
- ・ **8月19日(土)** 土佐清水市中央公民館会 2階会議室 9:30~11:30
土佐清水市郷土史同好会定例会において(依頼講話)
「土佐清水市史編さん事業講座・同和教育史」講師：市史編集委員会・浜岡 篤 委員
- ・ **9月16日(土)** 土佐清水市中央公民館会 2階会議室 9:30~11:30
土佐清水市郷土史同好会定例会において(依頼講話)
「土佐清水市史編さん事業講座・学校教育史」講師：市史編集委員会・谷岡暁美 委員